

# スクールカウンセラーだより 6

「長野の秋は綺麗だけれど短いよ」と教えてくれた方がいます。そういえば、遠くに見える山は、少し白い様子。厳しい冬に向かって、しっかり体調を整えていこうと思います。

## 子どもが自分で判断できるようになってほしい

多くの親は、何かトラブルがあったときに、子ども自身で物事を考え、判断し、行動できる子になって欲しいと考えていると思います。自立した子どもになって欲しいという思いですね。

自立心を育てる為には、「考えなければならない場面」と「考える時間」を意図的につくる必要があります。「スクールカウンセラーだより」の中では「お手伝いの大切さ」をよく書いていますが、お手伝いという場面と時間を意図的に作る事で、どうしたら上手く作れるかを考えます。また、大人と一緒に行動することで、失敗をしたときにどうしたら良いか、修正するためのアドバイスができる場でもありますね。

勿論、失敗をしたことを叱るのではなく、頑張ったこと、そして失敗を修正できたことを褒めてあげる事も大切です。結果も大切ですが、結果よりも、失敗を修正できたことを褒めてあげることが大切になります。

自分で修正できた（判断できた）ことで、この先、何があっても大丈夫という自信となり、様々なことにチャレンジできるようになると思います。

ある低学年の子が、お料理ができるようになり、自分で一品を任されるまでになったそうです、ときには食べてくれるママの好みを聞いて、少し味を変えたとか・・・。

食べてくれる人の気持ちを考えて味を変えられるとは、人の立場に立って行動できる素敵なシェフですね。

やらせなければ何も始まりません。いろいろな事にチャレンジさせてみませんか？

## 言葉の難しさ

ある本の中で「子どものやる気をそぐ、余計な言葉」みたいな文章が出ていました。

「頑張ればもっとできるはずだよ」

《期待しているから出る言葉、でも今の頑張りを認めていないようにも聞こえる》

「だから言ったでしょう」 《失敗した後のダメだし》

「どうしていつもあなたは～なの」

《子どもだって自分がうまくいっていないのはわかっている》

「そうは言うけれど、でもなあ～」

《子どもの意見を聞いているようで、実は意見を否定されているように感じる時にも》

「それには君にも（責任があるのでは？）」

《せっかく自分の気持ちを話したのに、お説教のスタート？》

「大丈夫？」 《心配してくれるのは嬉しいけれど、どう答えればよいのかな？》

言葉の使い方は難しいものですね。でも言葉で思いが伝わるのは1割程度と言われます。まずは真剣に聞いてあげる事かもしれません。

僕の話の聞いてくれると思えたときにアドバイスも入ります。

ここに挙げた言葉は、いずれも大人が心配して言ってくれているというのは子どもは理解しています。ただ、こちらの思いが優先してしまい、子どもに寄り添った言葉になっていないのかもしれない。言葉で励ますより、まずは安心感を与える表情であったり、しぐさがポイントになるでしょう。嵐のように忙しい日々だと思いますが、ちょっとゆっくりとした時間をつくり話を聞いてあげると、アドバイスも入りやすいかもしれませんよ。

#### 自分の興味があることを突き詰めたい

小学校などで勉強が好きだから勉強しているという子は、少ないかもしれません。面倒だけど、怒られるからしょうがなくやっている子もいるでしょう。

よく見るTV番組で「博士ちゃん」という番組がありますが、そこに出ている子は、自分の好きな事に関して、調べることが楽しくてしょうがないという感じで、一生懸命に調べ、まとめ、知識を豊かにしています。勿論、役に立つような事ばかりではありません。世界遺産から、お城、古銭、昭和歌謡であったり、昭和の電気製品であったり、かなりマニアックなものばかりです。

役に立たないものだからこそ楽しいのかもしれないね。

まずは何でも良いから興味を持つこと。そこを大切にしたいですね。

そこから学びがスタートしますし、人間関係も広がっていくように思います。

以前関わった子は学校の勉強は苦手でした。でも、電気関係はとても好きで、自分でパソコンを組み立てる事も出来ました。そんな彼は、都内の電気街の人に認められ、専門誌に自分のレポートを掲載されたことがありました。勿論、大人の手助けはありましたが、それが自信になり、勉強の楽しさを知り、自分らしさを伸ばしながら社会に出ていきました。

「学ぶ」とは、興味を持つことからのスタートのように思います。何に興味を持つかはわかりません。楽しい時間を一緒に共有することで興味は豊かになるのかもしれないね。

#### 子どもにとって興味がわく体験とは

子どもたちが積極的に活動するためには楽しい時間が欲しいと思います。

子どもにとってワクワクするような楽しさとは、

- ・新しい何かをできたとき 《自分の世界が広がった！》
- ・誰かに褒められたとき 《認められた！》、
- ・友達と一緒にやれたのとき 《仲間と一緒に共有できた》という事のように思います。

但し、いつもワクワクするようなことを計画するには限界があります。親も疲れますよね。いつも楽しい時間だと、マンネリとなり意欲も低下しますね。

勉強も同じで、楽しく学べる方法を考えたいですね。知識を得ることで自分の世界が広がった、友達も増えた、頑張ったことを認められた、等の体験がワクワク感に繋がっていくかなと思います。